

凌霜

りようそう

郡上市教育理念

「凌霜の心で拓く明日の郡上市」

「凌霜の心」高い志と不屈の精神・感謝の心

篠脇城跡の発掘調査の結果―東氏の生活を物語る出土品―

現在、教育委員会では篠脇城跡に関する調査に取り組んでいます。昨年の広報11月号で、篠脇城跡での発掘調査の様子を写真で紹介しました。その後も発掘調査を続けた結果、篠脇城の歴史を語る大きな手掛かりが見つかりました。今回は、今年度の発掘調査で分かったことを紹介します。

みなさんは、篠脇城についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。

郡上かるた「和歌で還った篠脇城」として読まれている東常縁と斎藤妙椿のエピソード、篠脇城の特徴である敵が攻めて来たときに丸太や石を落とす畝状（うねじょう）群（山の斜面を縦方向に下るように掘られた堅堀をいくつも並べたもの）など、篠脇城は戦うための城というイメージがあるのではないのでしょうか。発掘調査では、そのようなイメージを覆す出土品が曲輪（くわ）（山上の

平らな場所）で見つかりました。

山上の曲輪からは、現在の瀬戸市や東濃地域で焼かれた皿・碗・すり鉢や、常滑市で焼かれた壺など、当時の日常生活で使われたと考えられる品の一部が見つかりました。特に皿・碗・すり鉢・壺などの日常品以外に、素焼きの皿である土師器皿（かわらけ）とも言います。城主の嗜好や地位などを示す青白磁梅瓶（写真①）（酒を入れる容器）などの中国で焼かれた磁器、碁石や茶臼（ちやうす）と思われる石製品なども見つかりました。



①青白磁梅瓶の破片（篠脇城跡出土）

これらの出土品から、山上の曲輪では、東氏は京の文化を取り入れた雅な生活をしていただと推測されます。

曲輪に建物があったと考えられる場所で、東氏は青白磁梅瓶（写真②）の名品を眺めながら、



②復元した青白磁梅瓶（東氏館跡出土）

出典 大和町教育委員会編『大和町の文化財』

和歌などの文化を嗜んだり、客人や家臣と茶臼で挽いた茶を天目茶碗で嗜んだり、写真③の絵巻に描かれたように素焼きの皿で酒宴を催したり、また碁を打っていたことが想像できます。出土品によって推測される雅な生活の様子から、これまでの篠脇城のイメージが大きく変わったのではないのでしょうか。

東氏が現在の千葉県から郡上へ入部して、800年の節目の年となる今年2021年も、引き続き篠脇城跡で発掘調査を実施します。みなさんのご理解ご協力をお願いするとともに、篠脇城の歴史を語る大きな手掛かりとなる新たな発見について、ご期待ください。



③酒飯論絵巻

出典 茶道資料館編『平成30年度秋季特別展 酒飯論絵巻 ようこそ中世日本の宴の席へ』

図書館行事一覧

行事名	日程	時間	館名
第16回ふれあい切手展	10日（水）～28日（日）		本館
おおきなおはなし会	13日（土）	14:00～	本館
おはなしひろば	13日（土） 27日（土）	14:00～	本館
	13日（土） 27日（土）	14:00～	はちまん
おはなし会	13日（土） 27日（土）	10:30～	やまと
	13日（土）	10:30～	たかす

※緊急事態宣言等が発出されている場合、おはなしひろば、おはなし会は中止となります。

図書館からのお知らせ

ふれあい切手展（第16回）

3月9日は、「記念切手記念日」。本館では、3月10日（水）から28日（日）まで、白鳥切手同好会による記念切手の展示をします。懐かしい思い出が蘇るかもしれませんね。

「図書館からのお知らせ」欄について、4月以降は、図書館のホームページやケーブルテレビの放送・データ放送、図書館だより（各館に置いてあります）、図書館の掲示などでお知らせします。

3月 図書館カレンダー

網掛け：休館日

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※本館・やまと分室の平日の開館時間は午前10時～午後6時となります。（変更前：午前9時～午後5時）

※めいほう分室は、土日祝日が休館になります。

※わら分室は、日月祝日が休館になります。